



なにげなくながめるだけでも身につきます。

### 考え方 3 マスミ

①		1		2	4			
	3							
6								
7								
8								
9								

マスに注目する「マス見」です。図で①に注目。①と同じヨコ列にはすでに1と2と4、同じタテ列には6と7と8と9、同じブロックには1と3と6があり、どの数字とも重複しないのは5だけとなります。行き詰まったときにこんなマスがあるか探してみましょう。

### 考え方 4 いずれにしても理論

1								
		7	3	8	②	4		
		★	★					
	5	○						
		2	1					
	6	○						
3								
	4	③	5	6	7	8		

図で、1は中上ブロックで★のどちらかに入りますが、いずれにしても右上ブロックで矢印の乗ったマスに1は入らず、②が1となります。また、1は左中ブロックでは○のどちらかですが、いずれにしても③に1は入らず、③はマスミにより9になることがわかります。

### 考え方 5 予約

			1	2		5		
	3	★			5			
④	★	4						
				6				
			2					
				1				
1	4							
2	6							
			⑤	○	3	4	○	

図の左上ブロックで、1と2が入りうるマスはいずれも★の2つ。つまり★は1と2で「予約」された形になり、他の数字が入らなくなるので、5は④に入ります。矢印のついたヨコ列では、1と2が入りうるのはいずれも○の2マス。6は○に入らず、⑤ですね。

### 考え方 6 井桁理論

2							6
△							▲
3							7
4				1			
			1				
5							
6		4	9				2
7		8	⑥				3
▲							△

矢印がついた2つのタテ列で1が入る場所を探すと、それぞれ△と▲の2マス。これらが同じ2つのヨコ列にあるので、1は2つの△に入るか2つの▲に入るかのどちらかですが、いずれにしても点線が乗ったマスには入らず、中下ブロックで1は⑥に入ります。